

第2回 国立大学法人弘前大学物品・役務等契約監視委員会議事概要

開催日及び場所	令和7年2月19日（水） 弘前大学事務局1階財務部ミーティングルーム
委 員	委 員 長 加藤恵吉（法人内部監査室長） 委 員 三上雅通（弁護士） 委 員 岡井 眞（公認会計士・税理士）
審査対象期間	令和5年4月1日～令和6年3月31日
審議案件	4件
一般競争入札（最低価格方式）	1件
一般競争入札（総合評価方式）	1件
指名競争入札	0件
随意契約	2件
委員からの意見・質問及び それらに対する回答	別紙のとおり
委員会による意見の具申 又は勧告の内容	な し
その他	な し

別紙

審議 1 弘前大学文京町地区構内その他警備業務 一式（令和 6 年度～令和 10 年度）

意見・質問	回 答
○機械警備装置は、落札業者が独自の装置を設置するのか。 ○契約金額は、同じ業者が継続して落札すると、トータルコストが下がる分、低価格になると思われるが。 ○機械警備装置は大学の備品となっているのか。 ○入札金額は消費税抜きで、契約金額は消費税を含む金額で良いか。 ○最低入札金額は、定めることになっているか。 ○入札に関して前回の契約金額は、参考にできるのか。 ○役務契約は、単年度でも契約できるか。また、複数年契約の場合、最長契約は 5 年か。	○機械警備装置は、落札業者による専用の装置を設置することになっている。なお、業者が変わると装置は変更となるが、業者間で装置を使用できる契約が締結されれば、装置は継続して使用できる。 ○そのとおり。 ○受注者の備品となっている。 ○そのとおり。 ○役務契約は一定の金額を超える場合、定めることになっている。 ○契約金額は参考にできるが、入札の積算内訳に組み入れることはできない。 ○単年度でも契約できるが、契約年数は、トータルで低価格になる契約年数を選択している。また、契約年数に制限は無いが、例えば 10 年の長期契約にすると、社会・経済的現状から変更契約が都度発生する等、デメリットもでる。

○同規模の他国立大学の契約金額を参考に する等、参考資料は作成しているか。	○予定価格の算出では、複数業者の見積、 公表されている警備員の労務単価を調査す る等、参考資料を作成している。
--	---

審議 2 高精度放射線治療統合システム 一式

意見・質問	回 答
○入札メーカーは、機能の特殊性から 1 社 に決まってしまうのか。	○複数のメーカーが入札できるように仕様 書を作成している。
○事前に機器は実際に見れるのか。	○外国製品のため、最新の機器は中々見る ことが出来ないので、カタログ等で確認し ている。
○機器の不具合は、対応してくれるのか。	○保守体制の確立は、契約における必須条 件になっている。
○入札における評価値とはどういうもの か。	○仕様の評価点数を応札金額で割った値 で、入札金額が予定価格の範囲内、かつ、項 目に応じた評価数値が高い業者を落札者と する総合落札方式で用いる数値です。

審議 3 「弘前大学案内 2025～2027」原稿製作 一式

意見・質問	回 答
○今回は企画競争であるが、以前はどの様 な方式であったか。	○2017 年度までは毎年企画競争であった が、その後コロナ禍の影響もあり、掲載内 容に係る取材等ができない状況で、企画競 争による全面的刷新が困難であったことか ら、前のデータを利用できる前年度業者を 選定する方式であった。コロナ禍の影響が 収まってきた 2023 年度からは再び企画競 争となっている。

○ホームページは別業者か。	○ホームページは別業者となっている。
○大学案内の内容に、ホームページの内容を連携できるのか。	○連携はしていないが、公表する内容に相違がないよう確認を行っている。
○写真の使用はどうなっているのか。	○大学に権利がある写真であれば、業者に提供することもある。
○契約期間は3年であるが、内容更新の際、変更契約無しで製作できるか。	○前年度の内容を基に部分改訂することとしているため、大幅な改訂をしない限り、変更契約は行わない。

審議 4 輸血用血液製剤

意見・質問	回 答
○単価はどの様な設定か。	○輸血用血液製剤は日本赤十字社の専売で、価格も官報公示されているため、単価は決まっている。